

フォレストニュース

植林が地球を救う
平成24年(2012)8月10日
No. 56
発行 高津啓洋

育苗所を拡充 三か所に

今回ボランティアで植樹するミンガグアス市は元々ジャングルで鬱蒼とした木々に覆われていたところです。すべての木を伐採して町を作りました。またパラグアイ国は、国土あたりで、木を最も多く伐採した国です。

こうした状態を回復するために、パンタナール地域をはじめ、全国



シュウダデレステ育苗所



レダ育苗所



ニエンブ市にある育苗所

に植林を目指して、育苗所も拡充してきました。

現在、開拓当初から拡大してきたレダの育苗所に、パラグアイ第二の都市シュウダデレステ市とアスンシオンの近くのニエンブ市に、育苗所を設け、年間5万本以上の苗木生産を目指しています。

一分間に 東京ドーム三個が消える

今まで砂漠化の進行は、僅か1秒間にサッカー場1面分の緑が消えていました。

最近はややその速度は遅くはなっていますが、2000年～2005年に世界で減少した森林面積は年間平均で730万ha（日本の国土面積の約20%に相当）だそうです。

(森林・林業学習館)

それは、1分間に東京ドーム3個



アジアの熱帯雨林

(生物多様性の喪失と絶滅危険種の拡大)

今、この地域で消えてゆく生物は「絶滅」しているのです。ですから、再び増やして生き返らせることはできません。

生物の多様性により維持されている地球の生存環境は今も壊され続けています。

次世代の人たちは、いまを分、1時間で178個分の森林が消えている事になります。

そのような地球環境に緑豊かな地球を取り戻すことの困難さは、だれにでもわかる事実です。

この減少には、世界の地域的な偏りがあります。中国やヨーロッパでは大規模な植林が進められています。

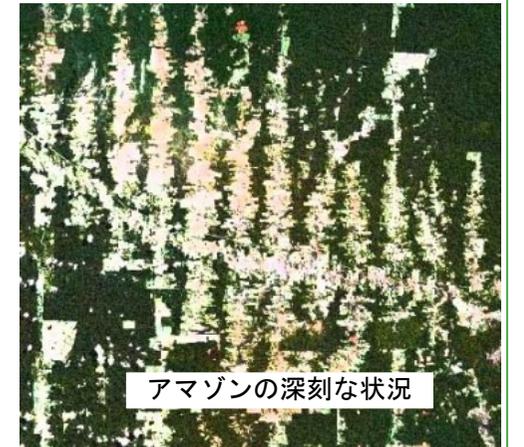
一方で、人類を含めたあらゆる生物が地球上で生存するために不可欠な熱帯雨林が大きく失われ続けています。その伐採の多くの理由が、商業的伐採（木材として、また農地の確保のため）によるものです。

南米や東南アジアなどの熱帯雨林の減少が高い率で進んでいるのです。一度失うと500年とか1000年もかかり、もし表土が失われた場合には、再生は不可能です。熱帯雨林にしか生存していない生物が森と一緒に地球上から消え続けています。

生きる人たちにより未来の生存環境を悪くした状態で引き継がざるを得ないのです。



パナマの森林破壊



アマゾンの深刻な状況